

参加費無料

GO BANK SEMINAR

2024年

9月13日（金）

19:00-21:00 (JST)

12:00-14:00

(CEST)

6:00-8:00

(EST)

最近、世界銀行、アジア開発銀行に就職したい方が益々増えています。そこで、これら国際機関でご活躍されている現役の日本人職員4名を迎え、これら機関の保健活動、国連機関の活動と採用プロセスの違い等についてご講演いただきます。世界銀行、アジア開発銀行のキャリア形成にご関心のある皆様、ぜひご参加ください！

形式 : オンライン (Zoom)

言語 : 日本語

主催 : 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
グローバルヘルス人材戦略センター

協力 : 世界銀行、アジア開発銀行

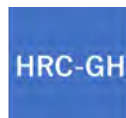
申込み : [こちら](#) もしくは QRコード



ご登壇者 (順不同・敬称略)

中谷 比呂樹 (グローバルヘルス人材戦略センター長)
平井 智子 (世界銀行東京事務所 上級対外関係担当官)
岡村 恭子 (世界銀行 保健・栄養・人口部局上級栄養専門官)
田村 由美子 (アジア開発銀行 駐日代表)
渡部 明人 (アジア開発銀行 人間社会開発セクター 保健専門官)
地引 英理子 (グローバルヘルス人材戦略センター 人材情報解析官 / 上級研究員)

問い合わせ
Go Bank Seminar
運営支援事務局
Hrcgh2024@gmail.com



プログラム

グローバルヘルス人材戦略センターからのご挨拶
世界銀行の保健の活動
世界銀行のリクルートメントプロセス
アジア開発銀行の保健の活動
アジア開発銀行のリクルートメントプロセス
ブレイクアウトルームによる質疑応答
閉会のご挨拶

ご略歴



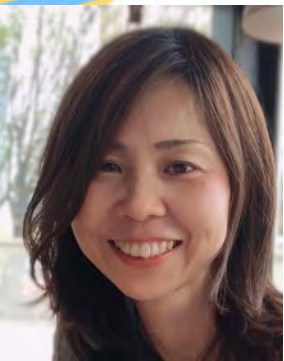
中谷比呂樹 (グローバルヘルス人材戦略センター長)

グローバルヘルス人材戦略センター所長。現厚生労働省入省以来40年にわたり国内外の公衆衛生専門家として活動。2007年3月から2015年5月までWHO本部事務局長補 (ADG)。在任中は多くの幹部職員選考員会座長を務める。現在、厚生労働省国際参与、グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) 代表理事。医学士、教育修士、医学博士。



平井智子 (世界銀行東京事務所 上級対外関係担当官)

国連機関やNGOでの勤務を経て1996年に世界銀行入行。世界銀行東京事務所では20年以上メディア担当として広報業務に携わっていたが、2020年から主に政府関係の窓口として関係省庁との調整に携わる他、信託基金管理、リクルート等を担当。また、JICAとの政策対話やアフリカ開発会議 (TICAD) の調整、日本人スタッフの増加を目指す採用プログラム支援などに従事している。2002年～2003年、ワシントン本部東アジア大洋州地域総局勤務。上智大学比較文化学科卒、トロント大学院にて修士課程修了。



岡村恭子

(世界銀行 保健・栄養・人口部局上級栄養専門官)

世界銀行保健・栄養・人口部局上級栄養専門官としてグローバル栄養政策形成および国レベルの保健・栄養事業運営に従事。マルチセクター栄養政策ガバナンスや栄養投資政策、食料システムと健康などの分野で分析やグローバル政策の調整を行っている。Scaling Up Nutrition Movement 執行委員 (Nutrition Finance Expert)。同志社大学法学部政治学科卒業。米国アマースト大学国際関係学 (学士)、ジョーンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院国際保健学 (修士) 修了。旧国立病院管理研究所 (現公衆衛生科学院) にてロックフェラー財団「健康と公正」研究や健康日本21策定などの保健政策研究に携わった後、国連児童基金 (UNICEF) ネパール事務所、東京事務所、エチオピア事務所に勤務。結婚・出産を経て日本のコンサルタント会社でJICAやWHO等の案件に従事した後、2018年12月より現職。



田村由美子（アジア開発銀行 駐日代表）

日本で国際経済学修士を取得し、アジア諸国の経済予測・カントリーリスク調査に7年従事した後、1998年アジア開発銀行（ADB）入行。東南アジア局・東アジア局でのエコノミストや局長付調整官、総裁補佐官などを経て、2023年より現職。ベトナムに7年、ミャンマーに3年駐在し、特にメコン川流域諸国の専門家として国別支援戦略の策定と実施、地域協力・統合、ドナー間調整など、幅広い業務をリードしてきた。現在は駐日代表としてADBの活動やアジア・太平洋地域についての理解の促進に努めるとともに、日本の官公庁、民間セクター、市民団体、教育機関などとの資金面および知識共有のパートナーシップの強化を推進している。



渡部 明人（アジア開発銀行 人間社会開発セクター 保健専門官）

2023年5月より現職。主に、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）のための保健財政、保健財政のデジタル化、保健インパクト投資、および気候変動に関する投資等の分野への技術支援とプロジェクトを担当。前職は、UHC 2030のプログラマネージャーとして、世界保健機関（WHO）、世界銀行、OECDが共同で主催するUHCのための多様な関係者からなるパートナーシップの調整を行った。また、保健財政のための上級コースE-Learningプログラムの開発にも携わる。医師免許（社会医学系指導医）、博士号（医学）を保持、また、LSHTM / LSE から保健政策、計画、及び財政の修士号（MSc）、INSEAD からチェンジマネジメントに関するエグゼクティブ修士（EMC）を取得。



地引英理子（グローバルヘルス人材戦略センター 人材情報解析官／上級研究員）

東京大学大学院総合文化研究科で日英関係分野で博士課程を修了後、外務省、国連世界食糧計画（WFP）、NGOで国際保健分野の活動に従事。2018年よりグローバルヘルス人材戦略センターにて国際保健分野で活躍されたい方を支援。医学博士。